

# 大府かわら版



## 市議会・6月定例会が終わりました

### 日本共産党市議・久永かずえの市議会報告



6月定例会市議会は、5月30日(金)から始まり6月20日(金)に閉会しました。

日本共産党の久永かずえ市議は6月7日に本会議一般質問に立ち、障がいのある子どもたちや家族の日々の支えとなっている「放課後デイサービス」について、父母・家族の切実な思いを届け「子どもどまんか」での継続した支援策の、いっそうの拡充を求めました。

障がいのある子どもたちに

# 安心の進学・移行支援を

## 家族の切実な思い届け質問

### 本人・家族の支えは放課後デイサービス

共働き世帯も増えてきているなか、障がいを持つ子が学校が終わってからの通う「放課後等デイサービス」を利用する世帯が増えています。しかし、受け入れる定員枠が限られており卒業後の受け入れ先もない——久永市議は、保護者からのこころした切実な声をふまえ、パネル(左欄)で現状を示しながら質問しました。

特別支援学校に通っている子どもたちは、いつもは朝9時ごろから午後ま



久永市議が質問で示したパネル

で学校で過ごし、放課後は保護者のお迎えで帰宅するか、または放課後等デイサービスを利用して、夜は家庭で過ごしています。そして春休みや夏休みなどは、学校がお休みのため、共働き世帯などは、朝10時ごろから16時ごろまで放課後デイサービスを利用していただきます。

### 行き場がなくなる春休み前の2週間

ところが、特別支援学校の卒業式から約2週間は子どもたちの行き場がなくなってしまうという問題があります。春休みに放課後等デイサービスを利用できるのが、3月19日の大府市立小学校卒業式の「あと」からになるためです(パネル)。その間、子どもたちには確約された支援がありません。このため多くの世帯は、障がいのある子どもに合わせて家族が、夫婦で仕事を調整したり離れて暮らす祖父母に助けをもらうなど「自己責任」でしのぐしかありません。

久永市議が質問しました。

●特別支援学校の小学部、中学部の卒業後の約2週間、療育支援が受けられない課題をどう認識し、どう解決していく考えか。障がいのある子・保護者にとって大事な居場所

### 市が答弁

ある放課後等デイサービス事業所の存続のために大府市独自の支援策が必要と考えるが、見解は? **ていねいに聴き取り 必要な支援をする**

大府市は、窓口等を通じて特別支援学校の小学部・中学部を卒業後の期間に療育支援が受けられない現状があることを把握している。課題解決には、個々の事情について利用者、事業者双方から今後丁寧に関わり合いを行い、障がい児通所支援の制度と併せて障がい福祉サービスの利用や必要な支援を検討していく、と答えました。

### 課題を解決して安心の支援体制を

久永議員は今回の質問に先立ち、事業所への聞き取り調査を実施。障がいのある子どもたちの居場所の一つである障がい児通所支援事業所からは「すでに定員を超えており、新たな通所の子どもは断ることもある。また運営が厳しく継続することができない」という切実な訴えがありました。この現場の声を伝え、事業所の存続のための支援と定員超過の課題解決を!と再質問。課題の解決には、何よりもまず現場を視察すること。そして定員の問題

### 市デイサービスの廃止計画に反対

今議会には、後期高齢者医療保険や国民健康保険の現行の保険証が廃止される内容の議案、大府市デイサービスセンターの廃止と、その廃止後に年間8万人の来場者をめざすという「おもちゃ美術館」の整備・運営委託料が含まれる補正予算案、などが提案され賛成多数で可決されました。日本共産党・久永かずえ市議は、市民に不利益となる問題点を明らかにし、議案に反対しました。

相談はお気軽に声かけください



生活相談 日常生活の困りごとについてご相談ください。

予約制で弁護士が対応

法律相談

7月17日(水)午後6時~<sup>無料</sup>

お急ぎの方も、まずは久永議員へ

久永かずえ 090-1758-3521 携帯電話

で事業所への支援を行わなければ、課題解決どころか事業所が継続して運営できなくなることを指摘し、改めて利用者や事業所への市の聞き取り調査を求めました。  
「放課後等デイサービスの拡充」については他の議員も質問。市は「必要な支援をしていく」と答弁しています。